

# COLORS



佐賀で活躍する100人の女性たち



## 大賤 美枝子 さん

Mieko Ootakara

鹿島市出身。建設会社で約20年間事務職に従事。人員削減により退職し、41歳で未経験の製造業へ転身。エンジンの部品、シリンダカバの鑄型の中子造型、仕上げを担当。2016年鑄造技能士1級取得。



入社するまでペンチを持ったこともありませんでした。

## 仲間に支えられた挑戦、合格が自信に

未経験で入社したので、最初は戸惑うことが多かったです。工具の名前も専門用語も分からず、教える方も大変だったと思います。

社長や同僚の勧めもあり、在職8年目に鑄造技能士1級の試験にチャレンジしました。学科と実技の試験があるので、夜間は家で机に向かい、数か月コツコツ勉強。休日や勤務終了後に職場を借りて実技の練習。同僚たちも時間外に勉強や練習に付き合ってくれました。

こんなにみんなに時間を割いてもらって、不合格だったらどうしようと不安になり、上司に相談したことがありました。「練習している過程も大事。練習することがすでにプラスになっているから大丈夫。」とかけてもらった言葉に勇気づけられ試験を受けました。

結果はめでたく合格。職場のみんなも一緒になって喜んでくれました。年齢や性別に関係なく、頑張ればできるということを実感し、自信につながりました。

## みんなの笑顔が心の栄養

手先の作業は、心の状態が影響してしまいます。とにかく無心に集中することが大切。また、職場のみんなの笑顔に日々癒されて、それを原動力に日々頑張っています。

## 未経験からの製造業転身、挑戦諦めず技術向上に邁進。

## 正確な仕事へのプレッシャーと喜び

複雑な形状に造型するものもあり、正確さを求められるので、これくらいはいいだろうという気持ちは許されません。自分の造型が成功したかどうかは、型から抜いてみないと分からないので、失敗が続くと、型抜きするときに胃がいたくなることもあります。

その分、一つ一つの作業がうまく行った時はとても嬉しく、製品となる過程に役立っていることに喜びを感じます。



音楽を聞きながらのドライブでリフレッシュ。

## 小学生のころから続く、毎日の習慣

父親の教えて、小学校の頃から毎朝仏壇に手を合わせてから家を出るようにしています。父の遺影に向かって「昨日も1日ありがとう。今日は〇〇があるから、見守っていてね。」と手を合わせます。日々の感謝を伝えたり、今日あることを想い浮かべて伝えたり。鑄造技能士1級に合格した時も、ありがとうと伝えました。



## 私のお気に入り

香水が好きで、出かける場所や気分に応じて使い分けています。

東亜工機 株式会社

**TOA**  
Toa Koki Co., Ltd.

鹿島市大字山浦丁1430番地30  
TEL: 0954-63-3236  
<http://www.toakoki.co.jp/>

主に船舶用ディーゼルエンジンに使用するシリンダライナやシリンダカバのトップメーカー。業界では技術的に高い評価を得、世界の船の安定運行に寄与している。